

# ICT ニュース 1 月号

2020 年 1 月 25 日  
院内感染対策委員会

## 新型コロナウイルス(2019-nCoV : Novel Coronavirus)

中華人民共和国湖北省武漢市で新型コロナウイルス感染症の患者が断続的に報告されています。感染はほぼ中国全体に広がり、感染者は中国以外の 7 か国にも広がっています。ヒト・ヒト感染が確認されおり、日本国内でも武漢市からの帰国後や来日された男性 2 名が新型コロナウイルスに感染しています。中国は 1/24-1/30 まで春節で、その期間中 70 万人が来日すると推定されています。

主な症状は、発熱や咳・息切れ・呼吸困難などの呼吸器症状などです。

- 新型コロナウイルス感染症疑いに対する医療機関の感染対策として、以下の内容が厚生労働省・国立感染症研究所センターより、通達されています。
- 急性呼吸器感染症患者の診察時には標準予防策、つまり呼吸器症状を呈する患者本人にはサージカルマスクを着用させることを原則とし、医療従事者は、診察する際にサージカルマスクを含めた標準予防策を実施していることを前提とする。
- そのうえで、新型コロナウイルス感染症患者の確定例、疑い例を診察する場合、
- (1) 標準予防策に加え、接触、飛沫予防策を行う。
  - (2) 診察室および入院病床は個室が望ましい。
  - (3) 患者の気道吸引、気管内挿管の処置などエアロゾル発生手技を実施する際には空気感染の可能性を考慮し、医療者はN95 マスクを装着すること。眼の防護具(ゴーグルまたはフェイスシールド)、長袖ガウン、手袋を装着する。
  - (4) 患者の移動は医学的に必要な目的に限定し、移動させる場合には患者のサージカルマスク装着を確認する。
  - (5) 診察室および入院病床は十分換気する。

現在、外来・クリニックでは新患で発熱かつ呼吸器症状がある方の問診を開始いたしました。

(問診では、症状発症 2 週間前に、中国への旅行や中国から来訪した方との接触があるか確認)

\* 問診で新型コロナウイルス感染症疑いとなった場合は、保健所に連絡相談しながら対応となる

- 業務中職員は、サージカルマスク装着と手指衛生の遵守をお願いいたします。  
(\*ダイケン、防災、受付、ボランティアの方も含めて)

\* 人ごみの中に入る際は、マスクを装着し外出後マスクを外し嗽・手洗いを十分に  
行いましょう。